



Color & Comfort by Chemistry

株主のみなさまへ

第117期 報告書 平成26年1月1日～平成26年12月31日



DIC 株式会社



Color & Comfort by Chemistry

化学で彩りと快適を提案する

Contents

株主のみなさまへ	3
連結業績	4
中期経営計画「DIC105」進捗特集	7
会社概要・株主メモ	10
DIC川村記念美術館のご案内	11

株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

さて、当社では、“STEP BEYOND”一次代を見据え、果敢に踏み出す一をスローガンに、中期経営計画「DIC105」を一昨年4月よりスタートし、「欧米インキ事業再構築」「成長牽引事業の拡大」「次世代事業の創出」を重点戦略として掲げ、グループの総力を挙げて取り組みを進めています。

平成26年12月31日をもちまして、「DIC105」の2年目となる当社第117期の営業が終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

連結業績のご報告

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、北米・欧州においては、景気回復が継続しました。アジアでは、中国・東南アジアで成長の鈍化が見られる一方、インドでは、後半にかけて需要回復の動きが見られました。国内においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化するなど、需要は弱含みで推移しました。

このような事業環境の中、当期の売上高は、出荷の増加や円安の影響などにより、8,301億円と前期比5.9%の増収となりました。

営業利益は、原料高騰の影響などにより、411億円と前期比6.9%の減益となりました。

経常利益は、399億円と前期比2.3%の減益となりました。

当期純利益は、252億円と前期比12.4%の減益となりました。

次期の連結業績見通しと配当金

次期の経済状況につきましては、国内においては、需要に弱さがみられるものの、年間を通してみれば緩やかに回復していくことが見込まれ、海外においては、米国をはじめ



欧州、中国・東南アジアでも緩やかな回復が続くものと予想されます。このような状況の下、当社グループは中期経営計画「DIC105」に基づき、欧米インキ事業の再構築や成長牽引事業の拡大への取り組みなどを通して、売上・営業利益は増収・増益を見込んでいます。

また、当期の配当につきましては、1株当たり3円の間配当を実施し、期末配当としても1株あたり3円とすることにいたしました。

次期の配当につきましては、中間配当及び期末配当として、それぞれ1株当たり4円、年間で1株あたり8円への増配を予定しております。当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様への利益還元をより充実させていくことを基本方針と考えています。また内部留保資金については、その充実に努めるとともに、企業体質を一層強化することで株主の皆様の将来的な利益拡大に寄与すべく、より有効に使用して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
社長執行役員

中西義之

※第116期より決算日を3月31日から12月31日に変更したことにより、前期と比較する場合については、当期連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前期実績として記載し、調整後の前期実績との対比による増減比を記載しています。

事業セグメント別業績の概況

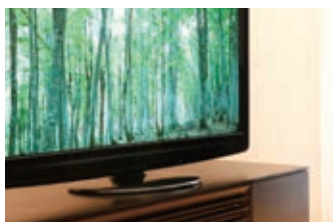
プリンティングインキ



日本では、グラビアインキの需要が底堅く推移し前期並みでしたが、オフセットインキ及び新聞インキが需要減少の影響を受け、減収となりました。北米・欧州では、パッケージ用インキは堅調に推移しましたが、出版インキや新聞インキの需要が弱含みに推移したことにより、減収となりました。中南米では全品目が好調に推移し、増収となりました。中国では、グラビアインキが好調に推移したことにより、オフセットインキの落ち込みをカバーし増収となりました。東南アジアでは、新聞インキが落ち込みましたが、グラビアインキが好調に推移したことなどから、増収となりました。オセアニアでは、主に新聞インキが需要減少などの影響を受け、減収となりました。インドでは、全品目が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは若干の減収となりましたが、円安の影響により増収となりました。

営業利益は、原料高騰に加え、コスト増の影響などにより、減益となりました。

ファインケミカル



顔料は、国内ではカラーフィルタ用が大きく伸びたほか、インキ用も堅調に推移したことなどにより、増収となりました。欧米では、インキ用の需要が減少しましたが、プラスチック用や化粧品用及び光輝材が伸びたことなどにより、増収となりました。TFT液晶は、需要は底堅く推移しましたが、新製品販売の遅れなどにより、減収となりました。以上の結果、全体としては、増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、増益となりました。

ポリマ



国内では、エポキシ樹脂及び塗料用樹脂は、土木・建築向け需要が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。ポリスチレンは、需要が底堅く推移したことなどにより、増収となりました。海外では、中国において需要が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。以上の結果、全体としては、増収となりました。

営業利益は、原料高騰に対する価格是正の遅れなどにより、減益となりました。

アプリケーションマテリアルズ



工業用粘着テープは、スマートフォン向けの海外需要が順調に拡大したものの、一部顧客の需要が減少したことなどにより、減収となりました。機能性光学材料は、電気・電子向け需要が回復基調に転じたこと、PPSコンパウンドは、自動車関連需要が好調に推移したこと、インクジェットインキは、需要拡大を着実に取り込んだことなどから、いずれも増収となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、増益となりました。

※第116期より決算日を3月31日から12月31日に変更したことにより、前期と比較する場合については、当期連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前期実績として記載し、調整後の前期実績との対比による増減比を記載しています。

連結グループネットワーク

🔷 プリンティングインキ 104社

DICグラフィックス株式会社
Sun Chemical Group Cooperatief U.A.
南通迪愛生色料有限公司
PT. DIC GRAPHICS
DIC India Ltd.
DIC (Malaysia) Sdn. Bhd.
DIC Australia Pty Ltd.
他97社

🔷 ファインケミカル 7社

連雲港迪愛生色料有限公司
他6社

🔷 ポリマ 28社

星光PMC株式会社
ディーエイチ・マテリアル株式会社
DIC化工株式会社
DIC北日本ポリマ株式会社
DIC九州ポリマ株式会社
Siam Chemical Industry Co., Ltd.
常州華日新材有限公司
迪愛生合成樹脂(中山)有限公司
立大化工股份有限公司
張家港迪愛生化工有限公司
他18社

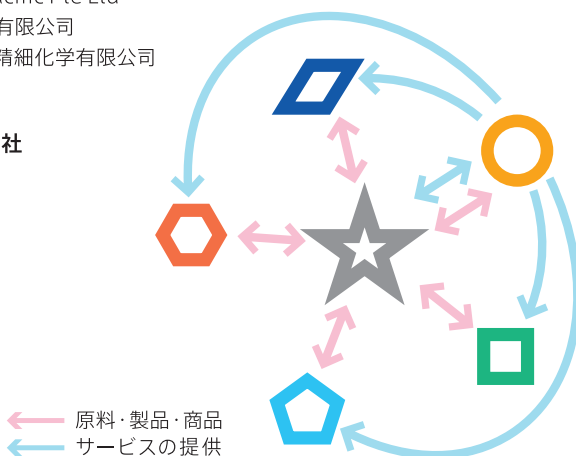
🔷 アプリケーションマテリアルズ 22社

DIC EP株式会社
DIC プラスチック株式会社
DICデコール株式会社
DIC Compounds (Malaysia) Sdn. Bhd.
Earthrise Nutritionals, LLC.
PT. DIC Astra Chemicals
他16社

🔷 その他 15社

DIC Asia Pacific Pte Ltd
迪愛生投資有限公司
青島迪愛生精細化学有限公司
他12社

★ DIC 株式会社



— 原料・製品・商品
— サービスの提供

セグメント情報

■売上高

(単位: 億円)

	2013年度 年間実績 (調整後)	2014年度 年間実績	前期比 (%)
プリンティングインキ	3,921	4,157	6.0%
ファインケミカル	1,277	1,383	8.3%
ポリマ	1,768	1,908	7.9%
アプリケーションマテリアルズ	1,210	1,230	1.7%
その他、全社・消去	△336	△377	—
連結合計	7,840	8,301	5.9%

■営業利益

(単位: 億円)

	2013年度 年間実績 (調整後)	2014年度 年間実績	前期比 (%)
プリンティングインキ	190	173	△9.0%
ファインケミカル	126	138	9.8%
ポリマ	104	78	△24.8%
アプリケーションマテリアルズ	69	71	3.1%
その他、全社・消去	△48	△49	—
連結合計	441	411	△6.9%

※第116期より決算日を3月31日から12月31日に変更したことにより、前期と比較する場合には、当期連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前期実績として記載し、調整後の前期実績との対比による増減比を記載しています。

連結業績

連結財務諸表等

連結貸借対照表 (要約)

平成26年12月31日現在

(単位:億円)

科目	金額	科目	金額
現金・預金	168	支払手形・買掛金	1,120
受取手形・売掛金	2,139	短期借入金(含む長借1年以内・CP)	1,014
たな卸資産	1,588	その他の流動負債	781
その他の流動資産	230	流動負債 合計	2,915
流動資産 合計	4,125	長期借入金・社債	1,728
有形固定資産	2,419	その他の固定負債	627
無形固定資産	133	固定負債 合計	2,355
投資その他の資産	1,360	負債 合計	5,270
固定資産 合計	3,912	株主資本:	
		資本金	966
		資本剰余金	942
		利益剰余金	1,087
		自己株式	△ 9
		その他の包括利益累計額:	
		為替換算調整勘定	△ 148
		その他	△ 340
		少数株主持分	270
		純資産 合計	2,767
資産 合計	8,037	負債及び純資産合計	8,037

連結キャッシュフロー計算書 (要約)

平成26年1月1日～平成26年12月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274
フリーキャッシュ・フロー	190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△261
現金及び現金等価物に係る換算差額	84
現金及び現金等価物の増減額	14
現金及び現金等価物の期首残高	150
現金及び現金等価物の期末残高	164

連結損益計算書 (要約)

平成26年1月1日～平成26年12月31日まで

(単位:億円)

科目	金額
売上高	8,301
売上原価	6,578
販売費及び一般管理費	1,312
営業利益	411
金融収支	△ 50
持分法による投資利益	30
為替差損益	3
その他	6
経常利益	399
特別利益	52
特別損失	△ 62
税金等調整前当期純利益	389
法人税等	△ 126
少数株主利益	△ 11
当期純利益	252

財務ハイライト

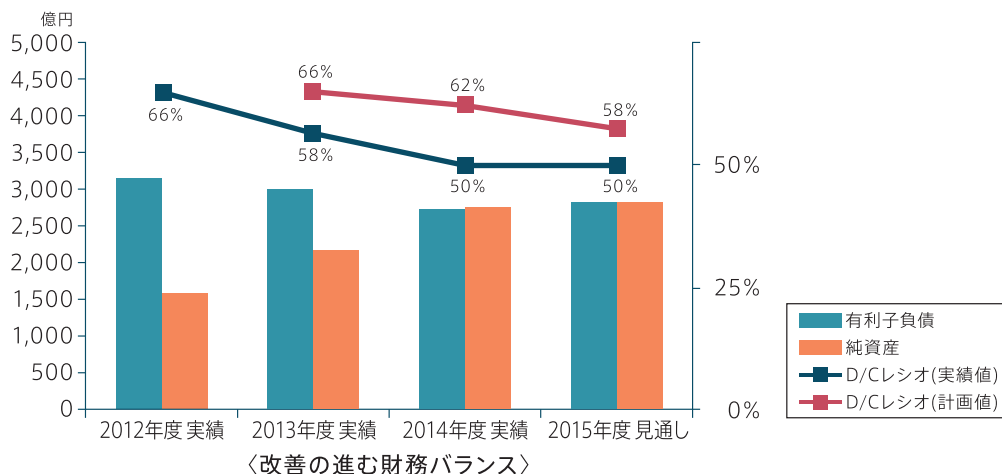
中期経営計画『DIC105』の二年目となる2014年度決算は、営業利益については計画未達となりましたが、当期純利益については計画を達成することができました。財務バランスの指標としているD/Cレシオ^{※1}は改善が順調に進み、2018年度目標としていた50%を前倒して達成することができました。2015年度については、DIC105で掲げたテーマを着実に遂行し、増収増益を目指します。

(単位：億円)

	2012年度 実績	2013年度 計画 ^{※2}	2013年度 実績 ^{※2}	2014年度 計画	2014年度 実績	計画比	2015年度 計画	2015年度 見通し
売上高	7,038	8,000	7,840	8,100	8,301	102%	8,400	9,000
営業利益	385	450	441	500	411	82%	600	500
営業利益率	5.5%	5.6%	5.6%	6.2%	4.9%	—	7.1%	5.6%
経常利益	351	400	409	430	399	93%	530	460
当期純利益	191	210	288	245	252	103%	320	320
有利子負債	3,156	3,200	2,991	3,000	2,742	91%	2,900	2,810
純資産	1,607	1,640	2,189	1,860	2,767	149%	2,120	2,810
D/Cレシオ ^{※1}	66%	66%	58%	62%	50%	—	58%	50%

※1 D/Cレシオ=有利子負債/(有利子負債+純資産)

※2 2013年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。他の年度との比較のため、2013年度は他の年度と同一の期間に調整した数値を記載しています。



持続的成長へ向けた投資進む

1) 成長するパッケージ用 リキッドインキ向け投資を実施

トルコにパッケージ用リキッドインキの新工場を建設しています。当社ではパッケージ用リキッドインキをコア製品として位置付けていますが、この度の生産能力増強は、成長市場である欧州全般を対象とし、高い市場シェアをもつトルコでの更なる事業拡大を目的としたものです。2015年第3四半期の完工予定です。



トルコで建設中の新工場

2) フタロシアニン（ブルー）顔料の 生産能力拡張を実施

インドネシアでは、有機顔料の生産能力拡張工事を行いました。フタロシアニン（ブルー）顔料は食品パッケージ用インキや塗料・プラスチック等に多用され、今後も発展途上国を中心に需要の拡大が見込まれます。DICグループの当該顔料におけるグローバルな競争力向上、生産基盤の磐石化を更に強く推し進めます。



インドネシアの顔料工場

3) 食品用天然系青色素（リナブルー®）の 新プラント建設を実施

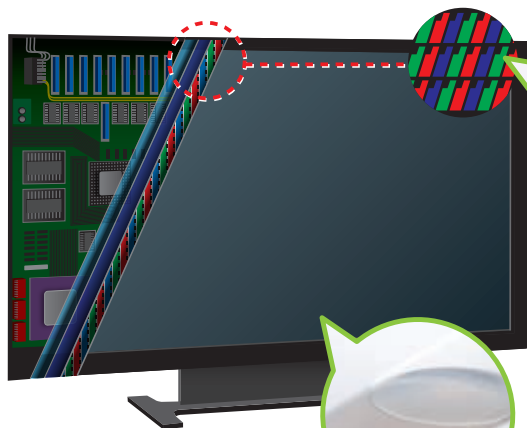
アメリカ・カリフォルニア州において、栄養補助食品としても利用されている微細藻スピルリナより抽出した、食品用天然系青色素「リナブルー®」の新プラントを建設しています。昨今の健康・安全志向の高まりを背景とし、氷菓やチョコレートを中心とした菓子類で需要が急増しています。旺盛な需要に応えるとともに、既に高品質を背景に高いシェアを持つ「リナブルー®」の地位をさらにゆるぎないものとしていきます。



建設中の新プラント。手前は原料となるスピルリナの培養池（アメリカ・カリフォルニア州）

成長牽引事業の拡大

DIC105の重点戦略の一つ「成長牽引事業の拡大」では、2018年のありたい姿の実現に向けて、大きく成長が期待できる3製品に資源を集中し、重点3大事業として各施策に取り組んでいます。



【TFT液晶事業】

2年間の
成果

- 中国新工場の稼働開始
- 新規ユーザーの開拓が進む
- 差別化可能な有望新製品を開発

2015の
取組み

- 新製品の上市
- 中国市場の開拓

【PPS(ポリフェニレンサルファイド)事業】

2年間の
成果

- 樹脂、コンパウンドの生産能力増強が完了
- 自動車向け中心に拡販が進む
- シェア拡大 '12年 25% ⇒ '14年 27%
- 中国に技術サービスセンターを開設

2015の
取組み

- 中国にコンパウンド工場を新設
- 需要地域に技術センターを設置



自動車部品の材料として多用されています。

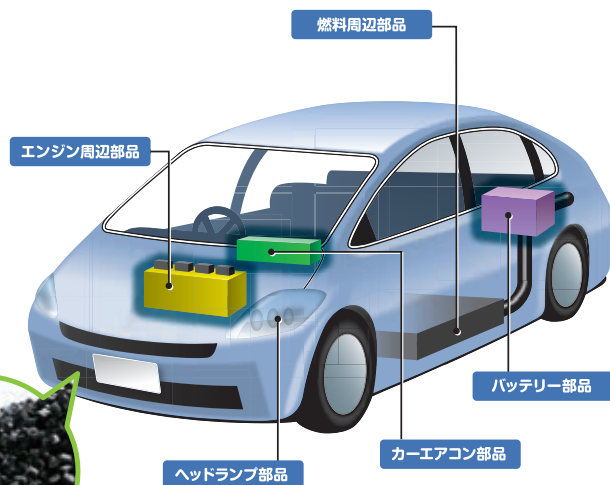
【カラーフィルタ用有機顔料事業】

2年間の
成果

- グリーン、ブルー顔料共にシェア拡大
- グリーン顔料のデファクトスタンダード化 (現在、シェア80%以上)
- グリーン顔料の新製品を開発

2015の
取組み

- グリーン顔料新製品の上市
- グリーン、ブルー顔料の更なる拡販



会社概要・株主メモ

■会社概要

—平成26年12月31現在—

商号	DIC株式会社 DIC Corporation
本店	〒174-8520 東京都板橋区坂下三丁目35番58号 電話 03 (3966) 2111
本社	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101 電話 03 (6733) 3000
創業	明治41年2月15日(1908年)
設立	昭和12年3月15日(1937年)
従業員数	連結20,411名 <単体3,542名>
株式の状況	発行する株式の総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 965,372,048株 株主数 42,777名 1単元の株式の数 1,000株

■株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
中間配当受領 株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) TEL 03-6701-5000 (通話料有料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。) URL http://www.dic-global.com/
株主優待制度	毎年12月31日現在の株主名簿記載の1,000株以上ご所有の株主に対し、 一律に当社DIC川村記念美術館の「株主ご優待招待券」2枚を贈呈

【ご注意】

- 住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

DIC川村記念美術館のご案内



DIC川村記念美術館は、当社が関連企業とともに収集してきた美術品を公開するため、千葉県佐倉市の総合研究所に隣接する敷地内に1990年に設立した美術館です。

17世紀のレンブラントから、印象派、エコール・ド・パリ、日本の屏風絵、そして20世紀後半のアメリカ美術まで多彩なコレクションを展示するとともに、収蔵品にちなんだ企画展や話題の展覧会を年に数回開催しています。

2015年の展覧会

ムルロ工房と20世紀の巨匠たち：パリが愛したリトグラフ

2015年4月4日（土）－ 5月12日（火）

フェルナン・ムルロが父から受け継いだムルロ版画工房は、パリの一角でシャンパンのラベルや広告を製作する町の印刷所として出発しました。フェルナンが手がけた画家の版画集や展覧会ポスターが評判となったことをきっかけに、ムルロ工房は芸術的リトグラフ工房へと発展します。画家たちは工房に通い、製版や刷りを担当する職人との協同作業によって、リトグラフの創造の可能性を追求しました。本展では当館のコレクション作家でもあるピカソ、マティス、シャガール、ミロ、デュビュッフェら20世紀の巨匠たちがムルロ工房で制作したリトグラフ、挿画本、ポスター、美術雑誌など約300点の作品をご紹介します。

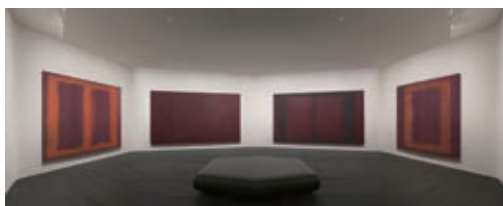


フェルナン・レジェ
《サーカス》より1950年
うらわ美術館

しなやかな関係 作品と場（仮称）

2015年5月26日（火）－ 2016年1月11日（月・祝）

DIC川村記念美術館の展示室には、雰囲気異なる11の部屋があります。所蔵作品おのおのにあわせ、大きさや意匠を変え設計したためです。オーダーメイドの展示空間は作品の魅力を十分に引き出し、見る人と作品を緩やかに結び合わせる最適な場となっています。本展では各展示室を巡りながら、改めて作品と空間のしなやかな関係に注目します。



ロスコ・ルーム（撮影：渡邊修）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館し、翌平日に振替）、年末年始、展示替え/メンテナンスの臨時休館

所在地：千葉県佐倉市坂戸631

交通：・お車で→東関東自動車道「佐倉IC」から約5Km、無料駐車場300台完備

・電車+送迎バスで→JR総武本線「佐倉」駅または京成本線「京成佐倉」駅より無料送迎バス（JR佐倉→約20分/京成佐倉駅→約30分）

・高速バスで→東京駅八重洲北口の3番バス乗り場から1日1往復運行、片道約60分

お問い合わせ：URL <http://kawamura-museum.dic.co.jp>（展覧会の詳細など、最新情報はホームページでお知らせしております）

代表電話 0120-498-130（通話料無料・自動音声案内）



<http://www.dic-global.com/>

Color & Comfort by Chemistry

当社の経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry」は、社会に対し、化学で彩りと快適を提案することを示しています。絶えざるイノベーションにより、顧客・社会・地球環境の持続可能な発展に貢献する、新たな価値の創造に全力を傾けてまいります。

